



## 6月28日 アンドリュー・オロス教授（ワシントン・カレッジ）公開講演会開催 「変わる東アジアの安全保障環境と日本の未来」

### Japan's Security Renaissance: New Directions in Regional and US-Japan Relations

---

国際交流基金（ジャパンファウンデーション）日米センターは、米国において安全保障研究で活躍するアンドリュー・オロス教授（ワシントン・カレッジ）を講演者として、東アジアおよび日本の安全保障動向に焦点を当てた公開講演会を下記のとおり、開催いたします。

近年、東アジアの安全保障環境が激変し、米国・中国の動向や日本の対応が国際的にも注目されています。今後日本が進むべき針路はどのようなものでしょうか？この問いについて、オロス教授と共に考えていきます。神奈川大学佐橋亮准教授をモデレーターに迎え、2017年3月に出版されたオロス教授の著書「Japan's Security Renaissance: New Policies and Politics for the Twenty-First Century」を中心に、日本を取り巻く安全保障環境がどのように変動し、それに伴い日本の政策が今後どのように形成されていくのかについて議論を行います。

つきましては、この機会にぜひ貴媒体でご取材・ご紹介賜りたく、ご案内申し上げます。

#### 記

- 【日 時】 2017年6月28日（水曜日） 15時～16時30分（14時30分開場）
- 【会 場】 国際交流基金 本部2階 ホール [さくら]  
東京都新宿区四谷 4-4-1  
（東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅から徒歩3分）
- 【タイトル】 「変わる東アジアの安全保障環境と日本の未来」  
Japan's Security Renaissance: New Directions in Regional and US-Japan Relations
- 【講演者】 アンドリュー・オロス 氏（ワシントン・カレッジ 国際関係学部 教授）
- 【モデレーター】 佐橋 亮 氏（神奈川大学 法学部 准教授）
- 【主催】 国際交流基金日米センター（CGP）
- 【使用言語】 英語（通訳なし）
- 【入場料】 無料
- 【ウェブサイト】 <http://www.jpf.go.jp/cgp/exchange/event/170628.html>

以上

講演者略歴：

### アンドリュー・オロス

(ワシントン・カレッジ国際関係学部教授)

南カリフォルニア大学卒業、ロンドン大学大学院修了、コロンビア大学大学院より博士号を取得(政治学)。南山大学、大阪外国語大学、東京大学等での留学経験を持つ。オロス氏は国際比較政治を専門としており、中でも日本政治、東アジアの安全保障問題に精通。現在、ワシントン・カレッジの教授として日米中安全保障協力の可能性についての研究を軸に、日本の安全保障政策について幅広く執筆。著書に、*Normalizing Japan: Politics, Identity, and the Evolution of Security Practice* (2008), *Getting the Triangle Straight: Managing China-Japan-U.S. Relations* (共著, 2010) など。

2009年安倍フェロー、モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団と国際交流基金日米センターによって運営される、日米次世代パブリック・インテレクチュアル・ネットワークの第2期メンバー。



モデレーター略歴：

### 佐橋 亮

(神奈川大学法学部准教授)

国際基督教大学教養学部卒。東京大学大学院博士課程修了、博士(法学)。オーストラリア国立大学博士研究員、東京大学特任助教等を経て2010年から現職。スタンフォード大学アジア太平洋研究センター客員准教授、メキシコ自治工科大学吉田茂チェア、ジャーマン・マーシャル・ファンド研究員、参議院客員調査員などを歴任。専攻は国際政治学、とくに米中台関係、アジア太平洋の安全保障秩序と制度、現代日本外交。著書に『共存の模索 アメリカと「2つの中国」の冷戦史』(勁草書房)、編著書に*Looking for Leadership: the Dilemma of Political Leadership in Japan* (Japan Center for International Exchange)、訳書にアロン・フリードバーグ『支配への競争：米中対立の構図とアジアの将来』(日本評論社)、共著に『アジアの安全保障アーキテクチャ』(日本評論社)など。論文は日本語、英語、中国語にて多数。日本台湾学会賞、神奈川大学学術褒賞など受賞。

